

◆一次選定工法の集計(キーワード・工種分類の重複整理およびNETIS掲載期間終了技術)

凡例 重複して選定した工法

①	キーワード検索	②	工種分類検索	③	NETIS掲載期間終了技術検索	
1	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	1	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	1	KKKKK工法	21 TTTTT工法
2	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	2	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	2	LLLLL工法	22 UUUUU工法
3	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	3	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	3	MMMMM工法	23 VVVVV工法
4	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	4	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	4	NNNNN工法	24 XXXXX工法
5	EEEEE工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	5	HHHHH工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	5	OOOOO工法	25 YYYYY工法
6	FFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	6	FFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	6	PPPPP工法	26 ZZZZZ工法
7	GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	7	GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	7	QQQQQ工法	27 ABABA工法
19		19	IIIII工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	19	RRRRR工法	39
20		20	JJJJJ工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	20	SSSSS工法	40
計	17	計	20	計	28	
重複	—	重複	17	重複	0	

工法数合計(のべ) 65 — 工法重複数合計 17 = 工法数 48 件

◆一次選定工法一覧表の作成

3-11. 一次選定工法一覧表

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	備考
1	AAAAA工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	
2	BBBBB工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	
3	CCCCC工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	
4	DDDDD工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	
5	EEEEEE工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	
6	FFFFFF工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	

◆二次選定基準に対する評価および選定

4. 二次選定表

4-1、4-2. 二次選定基準の設定による評価および選定

- ① モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術
 ② 法勾配1:0.7に適用可能な技術
 ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内)

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	二次選定基準評価結果	二次選定	選 定 理 由	備 考
1	AAAAA工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術 → × ② 法勾配1:0.7に適用可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術ではなく、適用法勾配が1:0.8より緩勾配である為、適合しない。	
2	BBBBB工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術 → × ② 法勾配1:0.7に適用可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術ではなく、適用法勾配が1:0.8より緩勾配である為、適合しない。	
3	CCCCC工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	① モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術 → × ② 法勾配1:0.7に適用可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術ではない為、適合しない。	
4	DDDDD工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術 → × ② 法勾配1:0.7に適用可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術ではなく、適用法勾配が1:0.8より緩勾配である為、適合しない。	
5	FFFFFF工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	① モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術 → ○ ② 法勾配1:0.7に適用可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	○	全ての条件に適合する	
6	GGGGG工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	① モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術 → × ② 法勾配1:0.7に適用可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	モルタル吹付面の緑化を主目的とした技術ではなく、適用法勾配が1:1.0より緩勾配である為、適合しない。	

◆二次選定比較表の作成

※ 開発者等に単価等をヒアリングし、比較表を作成

5-1. 二次選定比較表の作成

工 法 名		従来工法(植生基材吹付工)	AAAAA工法	BBBBB工法	CCCCC工法
登 録 番 号		-	〇〇-〇〇〇〇〇-A	〇〇-〇〇〇〇〇-V	NETIS掲載期間終了技術
開 発 会 社		-	□□□□会社	△△△△会社	〇〇〇〇会社
技 術 概 要		法面清掃、ラス張りをを行い、繼に種子、肥料、生育基材、接合材、水など各材料を軽量した後、モルタル吹付機に投入し、よく混合して所定の厚さに一度に吹付け			
特 長 所 ・ 短 所					
概 算 工 事 費	施 工 費				
	材 料 費				
	特 許 料				
	合 計				
	工 事 費				
概 算 施 工 日 数					
経 済 性			向上○%	向上○%	向上○%
工 程			短縮○%	短縮○%	短縮○%
品 質 ・ 出 来 形			向上	向上	向上
安 全 性		従来技術であるため基準とする	向上	向上	向上
施 工 性	特 殊 機 械		有	有	有
	施 工 性		向上	向上	向上
環 境 (景 観 性)			向上	向上	向上
開 発 地 域 (地 整) ※開発会社の本社所在地とする					
留 意 事 項					
施 工 実 績 (過去3年程度)	国 土 交 通 省	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	地 方 自 治 体	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	そ の 他	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
特 許 等	特 許	-	-	-	-
	特 許 使 用 料	-	-	-	-
	実 施 権 設 定	-	-	-	-
備 考					

従来技術は
現場条件を
考慮し設定

ヒアリング等により作成

◆結論

※ 二次選定比較表より、工法選定の重要事項の抜粋および留意点等を整理し、工法選定の結果をとりまとめる。

現場条件に該当する技術は、○技術が選定された。
以下、工法選定の重要事項について、二次選定表より抜粋した。
また、NETISより活用効果評価結果を別資料として添付する。

工 法 名	○○○○	△△△△	□□□□	▽▽▽▽	◇◇◇◇	☆☆☆☆
登 録 番 号	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	NETIS掲載期間終了技術
技術の位置付け(有用な新技術)	[設計比較対象技術]	[設計比較対象技術]	[設計比較対象技術]	[設計比較対象技術], [活用促進技術]		
概 算 工 事 費	○○、○○○円/m ²	△△、△△△円/m ²	□□、□□□円/m ²	▽▽、▽▽▽円/m ²	◇◇、◇◇◇円/m ²	☆☆、☆☆☆円/m ²
概 算 施 工 日 数	○○m ² /日	△△m ² /日	□□m ² /日	▽▽m ² /日	◇◇m ² /日	☆☆m ² /日
施 工 実 績 (過去3年程度)	国土交通省	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)
	地方自治体	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)
	そ の 他	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)
留 意 事 項		材料の注文から納品まで、 2箇月程度必要		特殊機械及び○○資格者 による特殊な施工となり、施 工業者に制限がある。		

工法選定の留意点

- ① 上表の概算工事費及び概算施工日数は、施工規模○○m²以上の場合とする。なお、工事費は概算であり、実際の積算には使用できない。
- ② 『△△△△』の材料は受注生産となり、注文から納品まで2箇月程度必要となる。
- ③ 『▽▽▽▽』については、特殊機械及び○○資格者による特殊な施工となり、施工業者に制限がある。